

「定め」の松・二世松」と植樹

ふるさととは今

「定め」の松・二世松」の植樹式を、7月4日(金)、三瓶山西の原で行いました。

「定め」の松は、大田市指定の天然記念物です。推定樹齢約400年といわれ、石見銀山御料の初代奉行・大久保石見守長安ゆかりの対立性一里塚松として、また、三瓶のシンボルとして親しまれてきました。しかし、昨年11月、その内の西側の松が松くい虫被害により枯死したため、本年6月、根の部分から撤去しました。幸いにも、この枯死した松は、島根県立緑化センター(松江市宍道町)において、接ぎ木の方法により、



伐採前の「定め」の松」の風景

二世松が育てられていました。

植樹式では、竹腰市長をはじめ地元関係者などゆかりの深い6人により、枯死した松とほぼ同じ場所に、この二世松が植樹されました。

三瓶のシンボル、「対の定め」の松」の復活を願い、この二世松を大切に育てるとともに、残っている東側の松の樹勢回復や松くい虫防除などその保護に努めます。

(大田市教育委員会生涯学習課)



現在の「定め」の松」の風景

表紙 湯里小学校

明治6年5月、湯里と西田に小学校が創設されました。その後、建て替えや移転、昭和46年の統合を経て、現校舎は平成12年に竣工。赤瓦と「ゆさと夢タワー(当時の在校生が命名)」が目をはひく、湯里の新しいシンボルです。

【郷土を愛し、心豊かでたくましく、主体的に行動する子どもの育成】を教育目標に掲げ、23名の児童を8名の職員、そしてたくさんの地域の皆さんが支える豊かな自然や文化を活かした充実した学校です。

ヨズクハデ作りの指導、登下校の見守り、遠足先の草刈…子どもたちのまわりにはいつも地域の皆さんの姿があります。皆さんは口をそろえて、「西田葛やヨズクハデが湯里の宝だと言いますが、本当の宝は子どもたち。宝物を大事にするのは当たり前のことですよ」と言います。

地域の愛情をいっぱいに浴びて、「葛のように伸びる広がる湯里の子(学校要覧より)」は、今日も元気な姿を見せてくれています。



平成12年～



↑明治43年建築の校舎屋根に葺かれた鬼瓦です。現在も「ふるさと湯里郷土館」(J A石見銀山湯里購買店舗2階)に大切に保存されています



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / **大田市役所総務部地域政策課** TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp http://www.iwamigin.jp/ohda/

おおだの定住サイト「おおだの未来検索サイト どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/